

1. 本県周辺海域の概況(11/9現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・黒潮の流型は、直進的なN型から蛇行したB型に移行しつつあります。黒潮本流は、犬吠埼沖を離岸傾向で通過した後、本県沖合を東北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯41° 東経143° 30' 付近(襟裳岬沖)にあります。親潮の面積は平年並です。
- ・東北海域の沿岸水温は、表層・下層とも平年並～高めで推移していますが、三陸北部海域の下層(100m深)では平年よりも低め(-2~-1℃)となっています(岩手県水産技術センター11月6日発表)。

2. 海洋観測結果(11/5~8:ときわ)

- ・時化の影響により、会瀬および大洗定線の沖合定点(東経141° 45' ~142° 00')が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10~13に、大洗・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。表面水温は、会瀬沖で19.7~20.3℃, 大洗沖で18.2~21.8℃, 鹿島沖で19.5~24.3℃, 犬吠埼沖で19.5~24.2℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、表層では全域で降温(-3~-1℃)しました。下層(100m深)では、犬吠埼沿岸と鹿島沖合でやや昇温(+1~+2℃)しましたが、犬吠埼沖合と大洗・会瀬の沿岸で降温(-2~-1℃)しました。(図6~7, 図14~15)。
- ・平年と比べると、沿岸および沖合の表層・下層では「平年並～高め」、極沿岸では「平年並～やや高め」となりました(図8~9, 図16~17)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行型のC型基調で推移するでしょう。また本県沖合での黒潮流路は東北東に流去する状態がしばらく続くでしょう。
- ・親潮の面積はやや拡大し、親潮第一分枝の先端は北緯40.5° 東経143° 30' (青森県沖合)まで南下するとみられますが、本県沖に親潮系冷水が直接影響することはないでしょう。
- ・水温を平年と比べると、本県沖の全域(沿岸・沖合の表層・下層および極沿岸域)で「平年並～高め」で推移するでしょう。

